

# 高校生議会

よりよい知立市のために高校生が政策提案

参加高校

知立高校

知立東高校

高校生と議員が知立市のまちづくりについて協議しました！



## 『高校生議会とは？』

選挙年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近なものとなった高校生に、議会活動を体験してもらい、地方自治への関心を高めてもらうとともに、高校生の視点から広くまちづくりについて意見を聴き協議する機会を設けるために行っている。

### STEP 1 事前協議



知立市に求める政策、解決したい課題など、高校生の視点で問題点・課題を洗い出し、テーマを設けて、事前に議員と意見交換を行い、高校生提案として形にしていきました。



高校での事前協議の様子

### STEP 2 議会当日



#### 第1部

事前協議を経て、高校生が調査・研究を進めていき、当日は、グループごとに発表をしてもらいました。各グループが、6つのテーマで政策提案を行いました。

#### 生活安全



知立市の刑法犯の約40%が自転車窃盗で、盗難自転車の67%が無施錠。防犯や交通安全の意識の低さが問題となっている。

1. 駐輪場にロックシステムを導入し、盗難を防止する。
  2. 防犯意識を高めるため、ポスターを掲示する。
  3. ボランティアによる見守り活動や防犯設備の充実を図る。
- 1~3を実施することにより、自転車盗難や不審者の声掛け、交通事故を減少させ、市民の安全を守る。

#### 生活安全（防災）



避難所では食料不足や栄養の偏り、温度調整、感染症リスク、プライバシーの確保が問題。被災した際の防災意識が低い。

避難所には栄養価の高い非常食やエアコン、プライベートルームテントを設置し、感染対策グッズを準備。防災士の育成と支援を強化し、防災意識を高めるための教育や啓発活動を推進する。



## 知立駅周辺に交流の場を



誰もがいつでもアクセスしやすい学習スペースやイベント開催スペースが不足している。

学習、コワーキングやイベント等に使えるスペースを知立駅前に設置し、無料で誰でもいつでもアクセスしやすくする。地域住民の交流を一層活性化し、知立駅周辺の賑わい向上で、知立市全体の発展と税収アップを促進する。

## まちづくり



知立市は交通の便が良いが、通勤利用が主で都市機能の更新や観光客受け入れが進んでいない。地域産業の停滞。

防災機能を併設した知立まきまきステーションを開設し、地域と人を巻き込む拠点を作る。具体的には、あんまきパークの設置、スタートアップ企業の誘致等で、地域の魅力を高める。

## 知立市の観光振興



知立市のイベント情報伝達が不足しており、特に若者の目に留まる機会が少ない。また、観光名所や特産品の認知度が低い。

若者に馴染み深いSNSを活用し、祭りや観光名所の情報を発信し、知立市公式ホームページでは魅力的な写真で視認性にも訴える。また、マコモダケなどをPRするイベントで地域の特産品を認知してもらおうきっかけを創出する。

## あんまきフェア



知立市は名古屋市や刈谷市、豊田市のベッドタウンとして人気があるが、知立駅から名物のあんまき店が遠く、人と人との交流が不足している。

駅前であんまきの食べ比べや手作り体験イベントを実施し、あんまきの知名度を向上させ、人々の交流を広げる。駅周辺の活性化を図り、知立市全体の魅力を高める。イベント利益の一部は市の交流の場づくりに活用する。

## 第2部

第1部での政策提案についてグループディスカッションを行いました。法政大学土山教授をアドバイザーとして迎え、各グループの政策提案について意見交換を行いました。意見交換後、土山教授より講評をいただき、政策提案の実現性を検討しました。

### 土山教授による講評

土山教授からは、政策には正しい答えが無いため多面的に問題を見ることが重要である。また、今回の高校生議会では議会は個人で解決できない課題を提起し、繋がりを通じて変化を生む場という経験ができたのではないかと述べられました。

